

第1回学術大会の「メンタルヘルス法務主任者／産業保健法務主任者資格」
単位付与に関する問題について

一般社団法人日本産業保健法学会

第1回学術大会の「メンタルヘルス法務主任者／産業保健法務主任者資格」単位付与に関して、一部の会員から付与単位数と申請数が一致しない等のお申し出があった問題について、委託業者において事実関係の確認、付与単位数再確認、修正を進め、このほど対応が終了したとの報告を受けました。事務局として、具体的な対応内容や、対応漏れがないかを重ねて確認してまいりました。

ここに、問題の概要と対応、再発防止策をご報告いたします。

この問題により、皆様方にご迷惑をおかけしたことを謹んでお詫び申し上げるとともに、今後の事業運営に当たって、再発防止に取り組んでまいります。

1. 問題の概要

単位付与の方法として、プログラムごとに設定したキーワードを動画終了後に表示し、受講者はこれを記録し送信し、正しいと確認された場合に単位付与をなされる、としておりましたが、この仕組みに関して、以下の通り複数の問題が発生していました。

1) キーワード表示の問題

- ① 産業医研修会のプログラムで現地参加者に、キーワードの説明が十分なされなかった。
- ② 視聴環境によりキーワードの表示が見えない、表示されないという事象が生じた。
- ③ リアルタイム配信のみのプログラムにおいて、キーワードの表示時間が短かった。
- ④ 一つのプログラムで誤ったキーワードを表示した。

2) キーワード送信の問題

- ① 正解ではないキーワードを送信しようとする、警告表示は出るもののそのまま送信可能であった。このため、単純なタイプミスと思われるケースが多数あり、誤りと判定されていた。
- ② 学会に登録したものと異なるアドレスから送信された方について、単位を会員名に紐づけられなかった。

2. 問題への対応

上記の問題について、参加者に不利益が生じないように、以下の通り、状況を確認して単位を付与いたしました。ただし上限は事前の取決め通り 12 ポイントです。

1) キーワード表示の問題

- ① 産業医研修会現地参加者には全員に付与（38 件）
- ② キーワードが見えなかったというお申し出に対しては、状況を聞き取ったうえでキーワードを伝達（7 件）
- ③ リアルタイム配信のみのプログラムについては、ログから視聴の事実を確認できた全員に付与（94 件）
- ④ キーワード誤表示については、実際に表示されたキーワードを入力した方に付与（28 件）

2) キーワード送信の問題

- ① 個別に確認したうえで単純なミスタイプと考えられるケースには付与(16 件)
- ② 登録アドレスと異なるアドレスからの送信について、氏名を手掛かりに個人同定を行い、すべて付与（27 人）

3. 再発防止策

今回の問題は、主として技術的な面での配慮や確認の不足から起きていたものと考えられます。今後の動画視聴等による単位付与にあたっては、以下の点を確実に対応するように、委託業者等と確認をまいります。

1) キーワード表示の問題

キーワードが動画の終了後ではなく、動画の一部として表示されるようにいたします。

また、キーワード設定誤りがないよう、確認を徹底いたします。

2) キーワード送信の問題

正確なキーワードが入力された場合のみ送信できる設定といたします。